

飯塚市議会議員 うえの伸五の市政報告

「ゴーゴー・しんご」 全力投球

第六球！



皆さま、こんにちは。うえの伸五でございます。

やりました・ホッとしました・涙が出ました。

副委員長を仰せつかっております、

公共施設等のあり方に関する調査特別委員会へ、

行政からの素案が提示されました。

平成二十三年度

穎田小学校・中学校の一貫校構想に加えて、

他の公共施設も「複合施設化(学校に併設)」への、

検討計画が掲げられています。

次年度より「基本計画」「実施計画」を経ての、

着工になる事と存じます。

まだまだ現状は素案の段階ですが、これが白紙撤回

されるなどという事態は、まず皆無だろうと考えます。

穎田町時代から、皆さんが、一丸となって取組んで

こられた「教育特区の思い」を、大きなカタチとして

実現できるように、今後も「全力投球」を続けてまい

ります。

「穎田地区 小・中学校一貫教育施設の実現へ」

皆様の力強いご支援の中、9月議会において、

「うえの伸五」の、一般質問「教育問題の項」で、

学校と地域との連携の重要性について、

穎田ライオンズと、穎田中学校野球部の合同練習や

自治・教育部会の例などを挙げながら、穎田地区の現状や、地域教育力の大切さ、

さらには、「教育特区」で培った「穎田地区の教育財産や地域特性」を訴えながら、学校と地域との強い信頼関係をアピールしてまいりました。

全ては愛する子ども達のために。

小中学校が「地域住民や行政と密着」することにより、子ども達や教師が、安心して授業に取組め、地域にも活力を与える。

そんな、理想的な教育現場を創造するため、

教育委員会には、強力なリーダーシップをお願いするとともに、地域住民・行政・学校が一体となることの素晴らしさを訴えました。

これに対して、「大きな教育効果が認められると思いますので、施設面を含め検討してまいります」

と、前向きな答弁をいただき、厳しい財政難の中とはいえ、穎田地区の思いをくんでいただき、今回の素案提示につながったものと、思っております。

また、一般質問の中では、**新築される「穎田保育所への進入路」の危険性について、**

交通量の多い道路から、一箇所の入り口で「本当に安全なのか」を問いました。

それに対しては、

「送迎の際、園児は奥にある運動場からの出入りを徹底いたします」

「前方道路には、標識の設置など、安全面には万全を期します」などの、お答えをいただきましたので、現場でも、シツカリ実践していただくように、申し述べました。

穎田地区の取り組みを信じ・評価し・早急に英断を下していただいた、齊藤市長はじめ執行部の方々には、心より御礼申し上げます。

また、これまでご尽力いただいた、地域の多くの皆様、ひとまずは、お疲れ様でした。

私自身も穎田地区の議員として、重大な責任と義務を果たせたような気がいたし、ホッとしております。

9月議会の終了後、すぐ打合せに取り掛かると、

「上野議員、教育問題に命がけですね」と、声をかけていただきました。

私の思いが、担当職員さんにも伝わっている事に安心するやら、嬉しいやら、しばらく声が出ませんでした。

これらを大きな区切りの出発点として、

今後、穎田地区の皆さまと共に、子ども達の明る

い未来を創造するため「全力投球」を続けてまいります。

また、今議会では、**「鯉田工業団地の契約に関する議案」**について議会が二分いたしました、

私は**「賛成の立場から討論」**をいたしました。

その内容をご紹介することで、私が賛成した理由を皆様に、お知らせいたしたいと思っております。

(なお、以前の議会等において、地質調査の結果、地盤は全く問題ない。と、明確な答弁があつておることを、あらかじめ申し添えておきます)

うえの伸五です。

私は、議案第84号から議案第88号まで「鯉田工業団地造成工事の契約」に関する5つの議案について、賛成の立場で討論をさせていただきます。

しかし、最初に、**「このように議会を二分させるよう**

な行政執行部の対応不手際について、苦言を呈さなけ

ればなりません。

昨年12月の、コスモスコモン指定管理者に関する上程議案否決の反省が活かされない事は、極めて残念であると言わざるを得ません。

今後は、この様な事態を招くことのないよう、一貫した態度で、執行権の行使に臨み、議会に対しても、誠実・真摯な対応を心がけていただきますようお願いいたします。

さて、鯉田工業団地造成に関する5つの議案についてですが、これらの議案に対しては、私も大きく4つの点について疑問を持ちました。

まず1点目は、工事着工の時期についてです。

自動車業界をとりまく経済情勢は、鯉田工業団地造成工事予算を可決した後、この数ヶ月間で一段と冷えてお入り、依然として芳しくない飯塚市の財政状態の中、**この時期での着工が本当に正しいのだろうか**

かという疑問です。

この点については、ピンチをチャンスと捉える経営者も多い、との現地名古屋事務所からの報告。

市役所内においては、企画調整部・総務部・財務部・経済部、そして都市建設部の、5つの部署合同で、鋭意、協議・検討を重ね、是非とも一日も早い完成が必要だという結果をみた事。

また、今議会には、目尾工業団地造成の補正予算

も、上程されておりますが、

これは、委員会において可決され、飯塚市内には工場団地が不足し、早急に整備すべき状態であると委員会において認めた事。

さらに、この目尾工業団地に関する議案上程は、企業誘致担当による、自信ある態度の表明だと、私は高く評価しているものであります。

そして、何より、地域浮揚のためには、より早く

受け皿を持つことで、機会を逸することなく、早期の企業誘致を実現したい。という、齊藤市長はじめ執行部の強い思いを聞かせていただき、

一日も早い完成が、飯塚市民の大きな財産の創造につながるものと判断し、着工時期に対する疑問については、理解納得いたしました。

次に疑問点の2つ目は、

市外業者を入札に参加させた事です。

先の6月議会で

「市内業者でも対応可能ではないかと思う」との答弁もいただいております、私としては当然、すべての工事を、市内の業者でやっていただけるものと思っております。

この点については、

工区が5つであり、お互いの土の切り盛りを主体とした、一体感の強いこの造成工事はどこかの工区

に遅れが生じたり、問題が生じれば、工事全体に不具合が発生するという事。

飯塚市としても稀に見る大工事で、不測の事態が発生した際には、経験が多く、強い技術力のある業者であれば対応が早い。

商品として販売するからには、確実に、より良い商品として作り上げたい。などとの説明を受け、

地元業者の育成を掲げる執行部としても、

市外業者を参加させることは、苦渋の選択であったろうと先の議会答弁だけに固執することなく、理解をいたしました。

疑問点の3つ目は、入札参加の条件についてです。

近々の10年間で10万リユーベ以上の土木工事施行経験がある事と、条件をつけることによって入札参加業者が制限されたという点です。

これについては、

只今申し述べました、市外業者を入札参加させた

理由、多くの経験と、高い技術力を確保したいという点、1・2工区は比較的難しい工事が要求されるという点、から考えても、例え市外業者といえども、

ある程度の実績は必要であります。

土木工事経験の浅い市外業者が落札すれば、地元の下請けに、工事のほとんどが丸投げされるから良いのではないか。という、**いかにも名義貸し的な**この考えには、同調することができないのであります。以上のようなことから、市外業者の入札参加へ条件を付けた事については、むしろ、当然であるべき事と判断をいたしました。

また、他の工区についても、条件を付けるべきではないのか、という指摘も、なされております。

この点についても、

行政執行部に対しては、少なからず議会に疑念を与え、信頼関係を損なう様な、不明瞭な説明や答弁は、不適切であったと指摘せざるを得ません。

しかし、工事の難易度は、土の量だけで計り知ることはできず、最新の土木技術に精通していない私
が、アレコレと考えるよりも、**専門的な知識を持つ**
技術関係職員の検討結果を信じ、**追認すべきである**
べきと、判断をいたしました。

最後に疑問点の4つ目でございます。

数ヶ月待てば、指名停止だった市外業者が増えて
競争力が高まるのではないか、という疑問について、
この場合の競争力という言葉の意味は、落札価格に
反映されると思いますが、その競争の果ては、今回の
最低落札価格に他ならないのであり、
しかも、今回の結果は、
最低価格による抽選でもあり、**まず、公正な入札**
が行われたことは明白であります。

例え、入札業者を増やしたとしても、次も最低価格になるという保証は全くなく、今回の入札結果以上の競争力発揮には、つながらないものと考えます。

1・2工区は入札参加業者の数が少ないと言われていますが、他の、3・4・5工区でも、13のグループによる入札であり、国の推奨する30という数字の半分以下でありますので、

仮に、入札参加業者の数を理由に反対するのであれば、5工区全てについて、反対しなくてはならないと私は考えるのであります。

また、先ほども申し述べましたとおり、数ヶ月の遅れが、名古屋事務所を中心とする企業誘致活動全体に支障をきたし、結果的に、工業団地は完成したものの、近隣自治体との誘致競争に遅れをとった、などという、

最悪の事態は、

絶対に、避けなければならないのであります。

入札に至る、その過程は確かにベストなものではない。これは私も認めるところでありますので、

今回、議会、委員会において、指摘された点を真

摯に受け止め、今後の大きな課題として、より良い入札制度づくりについて、ますますの、討議を深め、重ねていくべきであると思います。

最終的な判断をする上で、私が考えましたのは、

入札は、結果的に公正に行われたが、市外の業者を入れたから、とか、入札条件をつけた、あるいは、つけなかったから、などという点だけをとらまえて、これらの議案に反対すれば、

企業誘致に失敗するリスクや、造成工事全体を白紙に戻す・または、凍結させるリスクを議会が背負う事になり、**そのような事が、果たして市民の皆様にとつて最善の方法なのだろうか。**

ということでありませう。

齊藤市長が、地域活性施策の大きな柱として掲げた、この鯉田工業団地を造成する予算については、既に議会の同意を経っております。

今回の議決で、企業誘致活動がとまり、地域浮揚が一段と遅れる。このような事態に陥ることを、私は一番懸念・心配いたしております。

反対という、ネガティブな行動よりも、

これまでに、ご答弁いただいた職員の言葉を信頼した上で、一刻も早く立派な工業団地を完成し、企業誘致を実現し、早期に財政の健全化を達成していただきたい。

そして、市民の皆様の様々な要望に対して

「今は、お金が無いからできません」などという、情けない答弁を、この飯塚市から、一刻も早く排除したいのであります。

以上のような考えの下、私は、これらの議案に対して、賛成することを決意いたしました。

同僚議員の皆様におかれましては、このような視点からも、再度ご検討いただいで、是非、ご賛同賜

りますように、お願い申し上げます。私の賛成討論を終わります。

ありがとうございました。

以上が私の賛成討論ですが、造成工事契約議案5つのうち、市外業者が関わる2つについては、

議案審議担当の**市民経済委員会では、**

賛成2名・反対5名で否決。

9月30日での、**本議会採決の結果は、**

賛成16名・反対16名・欠場1名での可否同数。

議長採決にて否決となりましたが、

10月20日に開催された臨時議会にて、同内容での議案再提案、**市民経済委員会においては、**

賛成5名・反対2名にて可決。

本議会採決においても、賛成20名・反対10名。

欠場3名にて可決されました。

私は、9月に引き続き「賛成」。

今回「賛成討論」はいたしませんでしたが、**準備していた文をご紹介いたします。**

私は、9月30日の本会議において討論させていた
だいた内容、その立場に変わりなく、今も賛成の立
場であります。

もし、これらの議案が可決されれば、**私も、その
責任の一端を負う事になると考えます。**

ただ単に、工業団地を造成する事が最終目的では
なく、あくまでも、より早く「健全財政を確保」す
るために、齊藤市政が、最重要課題と位置づけるこ
れらの議案に賛成するわけです。

市長はじめ執行部、また、これらの議案に関わっ
てこられた、事務方・技術方・企業誘致担当の職員

の皆さん、

いいですか、**いままでの答弁を信じて賛成するんで
すから、これに違う(たがう)ことなく、今後も活動を
続けていただき、是非、立派な企業の誘致を実現して
いただきますように、切にお願い申し上げます。**

という、以上のような思いは、既に関係各部署へ
お伝えいたしております。

先般行われた、**平成19年度決算特別委員会**にお
いても、質疑をさせていただきましたが、紙面の都
合上2点について、ご紹介いたします。

次年度の商工会への補助金について、

商工会会員の皆さんは、自身の仕事をこなしながら、
地域を元気にしたいと、率先して活動されてお
られます。

旧四町の商工会が、次年度、一つとなるという組

織変更が行われますが、これに伴い、補助金額が大幅に減額されることなどあつてはならない。

という思いから質問いたしました。

これについては、たとえば、商工会組織が一つになるからといって、特別な減額は考えておりませんとの答弁でありました。

市有地の売却について、

穎田・勢田地区の「9万平米にも及ぶ山林」が、

詳細な説明が行われないまま、売却されようとしておりましたので、

まちづくりや、住民生活への影響などについて地元説明会を行い、まずは、皆様のご理解をいただくように、以下の通り、強く要望いたしました。

もしも、売却後に開発されるような事があれば、

井戸水や大雨への対応策も必要です。

いくら財政難とはいえ、このように無節操ともいえる財産売却は、まちづくりを、根底から覆す可能性が大いにあると、私は思います。

職員の皆さんは、将来に向けて、より良い飯塚市を創造しながら日々努力されていると存じますが、

冷静に常識的に考えて、市民にキチンと説明できない

ような施策はやめて下さい。市政に対して、イタズラに不信感を招く事になります。

最終的には、このような話はあつたが、地域住民

への説明不足、等という事から、このまま話が進んでいくなどという事は無い、と私は信じていますが、穎田地区にとって、大きな問題になろうとしていますので、明確な答弁をいただいております。

このような状況を見無視したまま、市有財産の売却なんて有り得ませんよね。

(この後も、数回の質疑を経て、最終的に)

今後、地元への説明会や、地区自治会長などの意見を聞きながら、ご理解を賜るよう、努力いたします。と、総務部長より答弁いただきました。

私自身も口先だけではなく、

「行動と結果を出しながらも 反省が伴う」

議員活動でなければならぬ。

そうあるべきだと信じています。

私の活動も「一人よがり 自分なりの全力投球」なのかもしれません。「うえの伸五」の活動を、皆さんの「広く深い視点」からご覧いただき、今後とも「叱咤激励」下さいますように、お願い申し上げます。

今までの役職に加えて、

保護司という重職を拝命。

また「飯塚市 武道振興会 顧問」に

就任させていただきました。

青少年育成のために、様々な立場から、出来うる限りの「全力投球」をさせていただきます。

最後になりましたが、

去る、10月16日・明治坑地区での火災において、被災された皆様や、ご近隣の方々には、心よりお見舞い申し上げます。

現在、行政に対しては、安全対策について

「早急に検討・迅速に対応」する事を、

強く要望すると共に、朽ちた「空き家等」への対応策として、条例関係の見直し等も、検討していただいております。

何事かございましたら、お声がけ下さいませ。

一人が気付いた事には、実は、何人もが「困っている」かもしれませぬ。
気がついた事があれば、お気軽にお知らせ下さい。

ボランティア・スタッフ 募集

- ◆ 「ゴーゴー・しんご」配布のご協力。(ご近所だけで構いません)
- ◆ 市政へのご意見・政策案へのご協力、等等。

「やったろー」と思っていただけでしたら、電話またはメールにて、ご連絡下さい。

この度「**中央団地3**」と「**桜ヶ丘**」より、スタッフ参加の申し入れをいただきました。

お忙しい中、ありがとうございます。心より「感謝」申し上げます。

【携帯電話】 **0800-1792-5545** (いいなこの国・ゴーゴーしんご)

【パソコンアドレス】 info@ueno-shingo.com

こちらは「全力投球」活動ホームページです。是非ご覧ください。

【ホームページアドレス】 <http://ueno-shingo.com>